

## 目次

第15講	論説・評論(15)―言語・哲学④ 皂のアイデンティティ	58	第30講	詩・短歌・俳句(2)―短歌・俳句	118
第14講	論説・評論(14)―言語・哲学③ 身体論	54	第29講	詩・短歌・俳句(1)―詩	114
第13講	論説・評論(13)―言語・哲学② 言語論	50	第28講	小説(4)―現代の文学②	110
第12講	論説・評論(12)―言語・哲学① 日本語論	46	第27講	小説(3)―現代の文学①	106
第11講	論説・評論(11)―社会・文化⑦ 法と倫理	42	第26講	小説(2)―昭和の文学	102
第10講	論説・評論(10)―社会・文化⑥ 政治論	38	第25講	小説(1)―明治〜大正の文学	98
第9講	論説・評論(9)―社会・文化⑤ 経済論	34	第24講	随想・随筆(4)―現代の文学②	94
第8講	論説・評論(8)―社会・文化④ コミュニケーション論	30	第23講	随想・随筆(3)―現代の文学①	90
第7講	論説・評論(7)―社会・文化③ 現代文化現象	26	第22講	随想・随筆(2)―明治〜昭和の文学②	86
第6講	論説・評論(6)―社会・文化② 日本人論	22	第21講	随想・随筆(1)―明治〜昭和の文学①	82
第5講	論説・評論(5)―社会・文化① 近代化論	18	第20講	論説・評論(20)―文学・芸術④ 伝統芸能論	78
第4講	論説・評論(4)―自然・科学④ 環境論	14	第19講	論説・評論(19)―文学・芸術③ 古典文学論	74
第3講	論説・評論(3)―自然・科学③ 医療	10	第18講	論説・評論(18)―文学・芸術② 文学論	70
第2講	論説・評論(2)―自然・科学② 科学と技術	6	第17講	論説・評論(17)―文学・芸術① 芸術論	66
第1講	論説・評論(1)―自然・科学① 科学論	2	第16講	論説・評論(16)―言語・哲学⑤ 哲学各論	62
			入試問題演習		122

演習問題 A

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30



次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(村上陽一郎「科学者とは何か」による)

75 70 65 60

問一  A  Cに入る最も適当な語を、次のア～オからそれぞれ一つずつ

選び、記号で答えよ。

- A ア 背景    イ 単語    ウ 理由    エ 知識    オ 実体
- B ア 歴史    イ 思想    ウ 知識    エ 知恵    オ 科学
- C ア 語法    イ 概念    ウ 科学    エ 哲学    オ 神学

- A 「    B 「    C 「

問二 — 線①の理由として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記

号で答えよ。

- A 現代の哲学研究は諸科学から分化し、独立して発展したものであり、当時の哲学をそのまま継承し発展させてきたものではないから。
- イ 当時において哲学は、物理学などの諸科学や神学も含めた学問領域全般を意味していたから。
- ウ 哲学研究の専門分化が過度に進んだことが弊害となって、哲学そのものが近年著しく衰退してきているから。
- エ 当時の哲学は特定領域に限定されず、神学的視点に基づいた知的活動全般を指すものであったから。
- オ 近年において哲学は、自然科学も含めた学問領域として発展してきているから。

問三 — 線②の理由として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記

- A 科学という学問に対する敬意が込められた表現ではない上に、語法としても適切でなかったから。
- イ 科学を職業とする者として医師や聖職者と同列に扱われることに強い抵抗を感じていたから。
- ウ 〈scientist〉という表現は英語の語法に反するので、この呼称を認めると自分自身の教養を疑われるのではないかという不安があったから。
- エ 自分の研究は狭義の科学の枠を越えたものであると自負していたため、〈science〉が狭い概念として扱われることに強い抵抗を感じたから。
- オ 語法として違和感があることに加え、知識を生業とすることに對して強い拒絶の感情があったから。

問四 — 線③とは何か。その説明として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- A 自然科学、人文科学、社会科学をすべて含めた知識全般を指すもの。
- イ 「人間科学」とも呼ばれる人間そのものを対象とする学際的な科学。
- ウ 世界や人生の根本的な原理を追究し、諸学問の基礎づけを目指す学問。
- エ 趣味や道楽ではなく、職業として専門的に取り組む学問。
- オ 宗教的な価値観から解放され、細分化された特定の領域を専門的に扱う知的活動。